

会 務 報 告

第20回東日本歯学会総会記録

1. 庶務報告

(1) 会員数 (平成13年12月31日現在)	(2) 役員数
正 会 員 1,232名	常任理事 9名
準 会 員 20名	理 事 26名
賛助会員 16名	監 事 2名
名誉会員 9名	評 議 員 74名
合 計 1,282名	

(3) 会務報告

平成13年第1回理事・監事会 (平成13年1月24日)

平成13年度の収支決算, 企画, 編集についての報告をし, 承認された。

平成13年第2回理事・監事会 (平成13年4月11日)

平成13年度の東日本歯学会役員についての再確認した。

平成13年第3回理事・監事会 (平成13年7月11日)

学会賛助会員の移動: 今年度から丸善の賛助会員をやめ, 広告料のみとすることが承認された。

平成13年第4回理事・監事会 (平成13年12月12日)

1) 平成14年度東日本歯学会役員について以下の通り承認された。

会 長	馬場 久衛		
専務理事	矢嶋 俊彦		
常任理事	溝口 到	姜 英男 (庶務担当)	
	東城 庸介	小鷲 悠典 (会計担当)	
	田隈 泰信	大野 弘機 (編集担当)	
	五十嵐清治	川上 智史 (企画担当)	
監 事	新家 昇	小野 正利	

2) 第21回東日本歯学会総会・学術大会の担当講座が歯科薬理学講座 (大会長東城庸介教授) に決定された。

3) 投稿規程の改定が承認された。

4) 学術大会における学会員以外の発表には, 当該学会の臨時会員 (会費3,000円) として対応することが再確認された。

平成14年第1回理事・監事会 (平成14年2月13日)

平成14年第1回評議員会 (平成14年2月20日)

平成13年度決算報告と平成14年度予算案が承認された。

金澤正昭教授と坂口邦彦教授の名誉会員が承認された。

2. 編集報告

東日本歯学雑誌20巻1号

(平成13年6月発行) 本文136頁

原著4編 臨床1編 学会記録

東日本歯学雑誌20巻2号

(平成13年12月発行) 本文75頁

総説1編 原著4編 教育1編 学会記録

投稿規程の改定

理事会の議を経て「7. 著作権の帰属」の項を加えた。

3. 企画報告

第19回学術大会

平成13年2月10日(土) 北海道歯科医師会館

担当講座 歯科理工学講座 演題34題

定例講演会

平成13年度第19回学術大会と併催

演者：北海道大学大学院歯学研究科病態学講座口腔再建外科学分野

小林 一三 先生

演題：院内感染の諸問題

特別講演会

①平成13年2月1日(休) 担当講座 口腔外科学第一講座

演者：千葉大学医学部歯科口腔外科学講座教授 丹澤 秀樹 教授

演題：DNA診断と疾患治療

②平成13年2月1日(休) 担当講座 歯科保存学第一講座

演者：千葉大学医学部歯科口腔外科 大学院生 小宮歯科医院勤務

木村 守宏 先生

演題：イェーテボリ大学のペリオポストグラジュエイトコースに学んで

③平成13年2月21日(水) 担当講座 歯科保存学第二講座

演者：東京歯科大学病理学講座 下野 正基 教授

演題：歯髄保存から見た象牙質・歯髄複合体

④平成13年2月28日(水) 担当講座 歯科保存学第二講座

演者：岡山大学歯学部歯科保存第一講座 吉山 昌弘 教授

演題：『新しいう蝕治療を求めて：保存修復から象牙質再生への新展開』

⑤平成13年6月21日(休) 担当講座 口腔病理学講座

演者：Dr. Arup Ratan Choudhury, B. D. S., Ph. D.

Head and Chief Consultant

Department of Dentistry

Bangladesh Institute of Research and Rehabilitation in Diabetes Endocrine and Metabolic Disorder (BIRDEM) Dhaka, Bangladesh

演題：Common dental disorders, nutrient intake and antioxidant vitamin level with periodontal disease among diabetic community in Bangladesh

⑥平成13年7月2日(月) 担当講座 小児歯科学講座

演者：山野 精一 先生

演題：Prospects for Gene-based Immunotherapy in Salivary Gland

⑦平成13年8月23日(休) 担当講座 歯科薬理学講座

演者：東北大学大学院歯学研究科口腔生物学講座 薬理学分野 篠田 壽 教授

演題：1) ビスホスホネートの骨吸収抑制作用とその歯科的応用

2) 硬組織代謝のサーカディアンリズム

⑧平成13年11月19日(月) 担当講座 歯科保存学第二講座

演者：東京歯科大学臨床検査学講座教授 井上 孝 先生

演題：『歯科なるほど臨床検査学』—検査もなく行われてきたう蝕, 歯周炎, インプラントの治療を見直す—

会計報告

東日本歯学会 平成13年 決算書 (平成13年1月1日～平成13年12月31日)

取 入 の 部		
科 目	本 年 予 算 額	本 年 決 算 額
①会費・入会金	5,491,000	5,694,000
正会員		
本年納入分	3,450,000 (690名×5,000)	3,340,000 (668名×5,000)
滞納分	500,000 (100名×5,000)	715,000 (143名×5,000)
前々年前受金	310,000 (62名×5,000)	310,000 (62名×5,000)
前年前受金	420,000 (84名×5,000)	420,000 (84名×5,000)
準会員		
本年納入分	57,000 (19名×3,000)	51,000 (17名×3,000)
滞納分		(0名×3,000)
賛助会員		
本年納入分	480,000 (16名×30,000)	480,000 (16名×30,000)
滞納分		30,000 (1名×30,000)
新規会員		
新卒	250,000 (50名×5,000)	300,000 (60名×5,000)
その他	15,000 (3名×5,000)	15,000 (3名×5,000)
準会員	(0名×3,000)	(0名×3,000)
入会金	9,000 (3名×3,000)	12,000 (6名×3,000)
臨時		6,000 (1名×3,000) 15,000 (3名×5,000)
②事業収入	705,000	1,057,300
広告料	270,000	375,000
別刷料	60,000	27,300
掲載料	375,000	655,000
製版料		
③雑収入	350,000	140,387
利息	10,000	10,717
その他	340,000	129,670
当期収入(A)	6,546,000	6,891,687
前期繰越金(B)	12,027,959	12,027,959
次期繰越前受金(C)	925,000	1,030,000
前年前受金	425,000 (85名×5,000×1)	425,000 (85名×5,000×1)
本年前受金	500,000 (50名×5,000×2)	590,000 (59名×5,000×2)
		15,000 (0名×5,000×1)
(3名×5,000×3)		
収入合計(D) (= A + B + C)	19,498,959	19,946,646

支 出 の 部		
科 目	本 年 予 算 額	本 年 決 算 額
①学術大会開催費	370,000	346,016
開催費	220,000	251,516
印刷費	150,000	94,500
②定例講演開催費	300,000	225,333
宿泊費等	150,000	125,333
旅費	50,000	0
謝礼金	100,000	100,000
③主催学会補助金	200,000	200,000
④特別講演会補助金	300,000	240,000
⑤雑誌発行費	4,000,000	2,938,685
印刷費	3,300,000	2,527,350
発送費	700,000	411,335
⑥事務経費	1,356,000	1,073,028
事務委託費	756,000	735,000
印刷費	50,000	3,990
通信費	300,000	219,300
事務用品費	250,000	114,738
⑦備品費	0	0
⑧デンタルトビックス補助金	300,000	300,000
⑨会議費	40,000	35,990
⑩予備費	100,000	0
⑪諸雑費	100,000	22,641
当期支出合計(E)	7,066,000	5,381,693
当期支出差額(F) (A - E)	-520,000	1,509,994
次期繰越(G) (B + F)	11,507,959	13,537,953
次期繰越前受金(C)	925,000	1,030,000
前年前受金	425,000 (85名×5,000×1)	425,000 (85名×5,000×1)
本年前受金	500,000 (50名×5,000×2)	590,000 (59名×5,000×2)
		15,000 (3名×5,000×1)
収支差引残額(H) (= D - E)	12,432,959	14,567,953
総支出 (E + H)	19,498,959	19,949,646

本年の帳簿等関連諸表を調査の結果、決算報告に誤りのないことを認めます。

平成14年1月31日

会計監事 馬場 久衛 ㊟

会計監事 新家 昇 ㊟

東日本歯学会 平成14年 予算書 (平成14年1月1日～平成14年12月31日)

取 入 の 部		
科 目	前 年 予 算 額	本 年 予 算 額
①会費・入会金	5,491,000	5,540,000
正会員		
本年納入分	3,450,000 (690名×5,000)	3,500,000 (700名×5,000)
滞納分	500,000 (100名×5,000)	500,000 (100名×5,000)
前々年前受金	310,000 (62名×5,000)	295,000 (59名×5,000)
前年前受金	420,000 (84名×5,000)	295,000 (84名×5,000)
準会員		
本年納入分	57,000 (19名×3,000)	51,000 (17名×3,000)
滞納分	(0名×3,000)	(0名×3,000)
賛助会員		
本年納入分	480,000 (16名×30,000)	480,000 (16名×30,000)
滞納分		(0名×30,000)
新規会員		
新卒	250,000 (50名×5,000)	250,000 (50名×5,000)
その他	15,000 (3名×5,000)	15,000 (3名×5,000)
準会員	(0名×3,000)	(0名×3,000)
入会金	9,000 (3名×3,000)	9,000 (3名×3,000)
臨時会員	(0名×3,000)	(0名×3,000)
②事業収入	705,000	580,000
広告料	270,000	225,000
別刷料	60,000	30,000
掲載料	375,000	325,000
③雑収入	350,000	350,000
利息	10,000	10,000
その他	340,000	200,000
当期収入(A)	6,546,000	6,330,000
前期繰越金(B)	12,027,959	13,537,953
次期繰越前受金(C)	925,000	795,000
前年前受金	425,000 (85名×5,000×1)	295,000 (59名×5,000×1)
本年前受金	500,000 (50名×5,000×2)	500,000 (50名×5,000×2)
収入合計(D) (= A + B + C)	19,498,959	20,662,953

支 出 の 部		
科 目	前 年 予 算 額	本 年 予 算 額
①学術大会開催費	370,000	370,000
開催費	220,000	250,000
印刷費	150,000	150,000
②定例講演会開催費	300,000	200,000
宿泊費等	150,000	50,000
旅費	50,000	50,000
謝礼	100,000	100,000
③主催学会補助費	200,000	
④特別講演会補助金	300,000	300,000
⑤雑誌発行費	4,000,000	4,000,000
印刷費	3,300,000	3,300,000
発送費	700,000	600,000
⑥事務経費	1,356,000	1,356,000
事務委託費	756,000	1,080,000
印刷費	50,000	30,000
通信費	300,000	300,000
事務用品費	250,000	250,000
⑦備品費	0	1,000,000
⑧デンタルトピックス 補助金	300,000	300,000
⑨会議費	40,000	40,000
⑩予備費	100,000	100,000
⑪諸雑費	100,000	100,000
当期支出合計(E)	7,066,000	7,700,000
当期支出差額(F) (A - E)	-520,000	-1,370,000
次期繰越金(G) (B + F)	1,107,959	12,167,953
次期繰越前受金(C)	925,000	795,000
前年前受金	425,000 (85名×5,000×1)	295,000 (59名×5,000×1)
本年前受金	500,000 (50名×5,000×2)	500,000 (50名×5,000×2)
収支差引残額(H) (= D - E)	12,432,959	12,962,953
総支出 (E + H)	19,498,959	20,662,953